

脊振町複合施設及び新庁舎建設に係る市の財政負担の見通し

基本構想(案)を作成する際に行った起債借入額の償還シミュレーションに基づく財政見通し

(1) 脊振町複合施設建設

脊振町複合施設建設については、市の財政負担が大きい合併特例債を使用した場合で試算する。
(千円)

事業費	財源内訳		起債の償還に係る 実質負担額	市の実質負担額
	起債借入額	一般財源		
①	②(①×95%)	③(①-②)	④	⑤(③+④)
1,000,000	950,000	50,000	325,190	375,190

(2) 新庁舎建設

(千円)

事業費	財源内訳		起債の償還に係る 実質負担額	市の実質負担額
	起債借入額	一般財源		
①	②(①×95%)	③(①-②)	④	⑤(③+④)
3,500,000	3,325,000	175,000	1,138,177	1,313,177

(3) 市の実質負担額合計

(千円)

項目	市の実質負担額
脊振町複合施設建設	375,190
新庁舎建設	1,313,177
合計	1,688,367

(4) 財政調整基金等の現在高

平成28年2月議会提出の平成27年度一般会計補正予算(第4号)後の基金の状況
(千円)

項目	基金残額
財政調整基金	2,465,346
減債基金	600,884
公共施設整備基金	566,275
合計	3,632,505

(5) 市の財政負担の見通し

新庁舎建設等に係る市の財政負担は、1,688,367千円であり、基金の残額は、3,632,505千円であるため、建設に係る費用を担保できるものとする。